



錦織公園散策と富田林寺内町見学

担当：B グループ 森シリーズ

1. 日 時：2022 年 4 月 28 日（木）
2. 集 合：南海高野線 金剛駅 10 時 30 分
3. 参加者：22 名
4. 行 程：南海金剛駅（10：30 スタート）⇒錦織公園⇒近鉄滝谷不動駅⇒近鉄富田林駅
⇒富田林寺内町（15：40 解散）

この例会は雨天中止に伴い2週間後の実施となりましたが、好天に恵まれ陽光を感じる活動でした。錦織公園では現地を管理されている方から予定外の貴重な楽しい話を聞くことができ大変良かったのですが、その分後半は少々かけ足の散策になりました。

・**錦織公園** 面積 65.7ha 甲子園球場の 16 倍の広さで、丘陵の地形を出来るだけ残して里山の風景を復元した公園です。里山ゾーン、ツツジの丘ゾーン、野辺の道を散策する（テンナンショウ属のウラシマソウ、ユキモチソウなどを観察）。里の家では管理人のガイドさんより河内木綿の説明を受けました（綿とり機など）。昼食後、30 分程歩いて近鉄滝谷不動駅へ。

・**寺内町** じないまち交流館からボランティアガイドさんの案内で町歩きをする。戦国時代に出来たこの町は寺院を中心とした、外周に堀や土塁を巡らせ防御した宗教自治都市で繁栄しました。戦乱を避ける策として街路のほとんどは直行しておらず、角を少しずつずらされた「あてまげ」によって見通しが妨げられています。建物約 500 棟の内 180 棟余りが江戸～昭和中期の建築で「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。町並みを散策して色々な工夫がされていました。虫籠窓、鬼瓦、忍返し、煙出しなど。江戸時代の町並みを維持することは大変な事ですが、魅力のある町づくりをこれからもお願いしたいと思っています。



河内の里・綿とり機



寺内町の「あてまげ」

